

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ソレイユの森宮の沢（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和6年10月21日 ～ 令和6年11月30日			
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	50	（回答者数）	39
○従業者評価実施期間	令和6年11月1日 ～ 令和6年11月30日			
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月9日		○公表日	令和7年1月24日

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・トランポリンやボルダリングなど、学校ではなかなか経験ができない設備と環境があること。	・運動が苦手な子どもでも楽しく取り組めるように、職員でアイデアを出し合い、療育プログラムを作成している。 ・療育のコーナーを複数（鉄棒、ボール運動、集団遊びなど）用意し、時間ごとにローテーションを行い、子どもたちが飽きずに参加出来るように取り組んでいる。	・引き続き、職員でアイデアを出し合ったり、体操教室のコーチにもアドバイスをもらうことで、より充実し、マンネリ化しない運動療育のプログラムを作成していく。
2	・系列の児童支援発達や体操教室、就労支援などが同建物内にあり、情報交換や連携をとって支援が行えること。	・日頃から、児童発達支援と放課後等デイサービスの職員で情報共有を行い、未就学児に対して入学後も切れ目のない支援を提供できるように努めている。 ・職員が体操教室のコーチから補助の方法などを学ぶことで、子どもたちに専門的に体操を教えることができています。	・デイサービスに通う子どもたちで、集団活動や日常生活での困りごとが減ってきたと思われる時には、保護者と相談し、体操教室への見学や体験を促すことで、自立の促進や、社会交流につなげていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・他事業所や学校、児童館など各関係機関との情報共有の機会が少ない。	・現状、担当者会議や送迎の際に職員に子どもたちの情報を聞くことが、情報共有の中心になっている。 ・個別支援計画や日々の療育に割く時間の割合が多く、他機関との情報共有の機会を作れていない。	・意識的に関係機関への連携をとり、各機関での取り組みや困りごとなどの情報共有をこまめに行うことで、各機関で足並みをそろえ、より良質な支援につながるような工夫が必要。
2	・机上での活動の時間が短いので、活発に動く時間に比べ、じっと我慢して集中するなどの経験が少ない。	・運動が中心のデイサービスであり、保護者のニーズもあるため、運動に割く時間が増えてしまう。	・運動療育の中でも、靴紐や箸の持ち方などの微細運動や、ビジョントレーニングなどを充実化させることで、運動を楽しみながら、集中力や指先の運動など、学校生活にもつながるスキル向上を目指す。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ソレイユの森宮の沢（放課後等デイサービス）

公表日 令和7年1月24日

利用児童数

54

回収数

39

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36			3		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	30	1		8		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	1		4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36			3		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	39				・子どものこと（性格など）をよく理解してくれてると思っています。	・引き続き、研修などを通して職員の質を高めつつ、子どもたちに寄り添った療育が出来るように努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	38			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	39					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	39					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	39					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	39					・日々、子どもたちが意欲的に活動に取り組めるよう、職員で意見を出し合い、療育のプログラムを作成しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	6	2	17	・必要ないと思う。	・現状、施設外の子どもたちとの関わりは、ありませんが、学校や児童館の職員の方々と情報共有を行い、療育につなげていければと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	39					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	21	1	6	11		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	39					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	38		1		・いつも相談に乗ってくださりありがとうございます。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	39					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	4	8	15	・必要ないと思う。	・必要に応じて、父母会なども検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36			3		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	36			3	・いつもわかりやすいです。	・連絡帳に活動の様子の写真を貼っているのがありがたい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34			5		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	37			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	39					・年に2回、地震や火事を想定して避難訓練を行い、その様子をラインやおたよりで伝えています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	37			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	34	1		4	・細かく説明してくれます。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	39					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	39				・いつも楽しく活動していただき、ありがとうございます。 ・ソレイユ通所の日を楽しみにしている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	39				・体幹が随分改善して、色々な運動をすることができています。 ・色々なところに連れて行ってってくれるので助かります。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ソレイユの森宮の沢（放課後等デイサービス）				公表日	令和7年1月24日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・階段には、身長にあわせ2段階の手すりを設置しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎朝、職員で清掃の時間を設け、清潔でこども達にあわせ環境整備を行っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・毎日、療育後に振り返りを行うことで業務改善や療育の質の向上に努めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アンケートを参考に業務改善に努めていきます。	・アンケート以外にも、日々の保護者対応などの際に聞く、情報や意見を大切にし、業務改善に努めていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・事業所内研修を定期的に行い、外部研修にも積極的に参加しています。	・今後も職員の資質向上のため、内部研修や外部での研修に参加していきます。	
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・子どもの様子や、保護者様の話を職員で共有することで、様々な職員の目線で、サービス計画を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・必要であればVineland-Ⅱを使って子どもの適応行動の状況を図っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・学校で行う体育にあわせて運動療育を変えていたり、子どもたちが自発的に参加出来るように、ゲーム性などを取り入れた運動療育を行っています。	・今後も職員での情報共有や話し合いの機会を行い、マンネリ化せず、子どもたちが楽しめる活動の工夫を続けていきます。	

提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援開始前に、療育内容の確認や役割分担、こどもたちの支援目標や注意事項を確認する時間を設け、チームで連携し、スムーズに支援が行えるように心掛けています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・支援終了後は、その日の気づきや、保護者との会話などを職員で共有し、今後の改善に努めています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・当事業所の児童支援発達と情報交換や共有を行うことで、支援の改善やスムーズな放課後等デイサービスへの移行に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		・現状、協議会等への参加ができていないが、職員の質の向上に向け、積極的に研修などに参加を検討しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約の際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について説明を行っています。また、変更などあれば、都度、お知らせをしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・現状、父母の会はないが、保護者同士の連携を支援していけるような取り組みを検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月お便りを発行しています。その他にも連絡ノートやLINEでも情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・おたよりにこどもの写真を載せる場合は、保護者に確認を行い、プライバシーを守ること努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・地域の招待などは行っていないが、今後、必要であれば慎重に検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○		・マニュアルの作成や訓練は行っているが、家族への周知が不十分なところがあるので、今後、周知ができるように改善していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・夏季と冬季に、地震、火災を想定して年二回の避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・アレルギー一覧表を作成し、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			